卓越したシステム開発リーダーの育て方【会場・オンライン同時開催】（4125232）

本講座では、卓越したリーダーに共通するスキルを養成するための自己トレーニング方法(自分のためのOJTマニュアル)を紹介します。これを通してマネジメントやマーケティング、仮説の立て方などのエッセンスも学ぶことができます。

開催日時	2025年8月4日(月) 10:00-17:00
JUAS研修分類	ビジネススキル(チーム・リーダーシップ・指導力)、ビジネススキル(ビジネス・コミュニケーション)
カテゴリー	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 専門スキル
講師	丸山有彦 氏 （ ｍｙコンテンツ工房代表：業務改革・文書コンサルタント ） 1962年生まれ。専門学校にて講義およびテキスト作成に従事。同時に歴史研究者に師事し基礎研究法を学ぶ。その後、失語症の言語訓練を研究、渋谷失語症友の会副会長。訓練法を子供の作文指導、職業訓練に応用。その経験から新しい日本語の文法を構築する。現在、企業向けにビジネス文書、文章の指導を行っている。ｍｙコンテンツ工房代表。渋谷油絵教室代表。 ブログで情報発信をしております。 ご興味ある方はご覧ください。http://mycontentslabo.com/
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：35,200円 一般：45,100円（１名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（NBF東銀座スクエア２F）
対象	システム開発のリーダーを目指す方、リーダーを育成される方、その管理者の方 中級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
【選べる受講形態】
A. 会場にてご参加
B. オンラインにてご参加：【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
A. 会場にてご参加：当日配布
B. オンラインにてご参加：開催７日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）
※開催７日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。
■開催日までの課題事項
特になし

◆当講座はオンライン参加も可能な講座となります ◆

卓越したシステム開発リーダーの育て方
－その自己トレーニング方法(OJTマニュアル)を一挙公開

顧客満足度の高いシステムを作るリーダー*たちは、システムの品質確保・納期・予算遵守でも飛び抜けています。
システム開発の成否はリーダーの力量次第といっても過言ではありません。
このような卓越したリーダーを育てるにはどうしたら良いのでしょうか。
上司としてどのような対応が必要でしょうか。
卓越したリーダーを第三者が育てることはできません。

システム開発リーダーを目指す者が自己トレーニング方法(自分のためのOJTマニュアル)を確立していくしかありません。
上司の役割はこれを支援することです。

卓越したリーダーたちと勉強会を重ね、その要因を確認し検証してきました。
こうしたシステム開発リーダーに共通していることは、「要求・要件を聞き取り、顧客の要望についての仮説を立て、イメージが伝わる工夫をする」ということでした。

本講座では、卓越したリーダーに共通するスキルを養成するための自己トレーニング方法(自分のためのOJTマニュアル)を紹介します。
これを通してマネジメントやマーケティング、仮説の立て方などのエッセンスも学ぶことができます。

*本セミナーではリーダーは方向性を示す人、マネージャーはリーダーの定めた方向性の履行を管理する人と定義しています。

■主な内容
１ 卓越したリーダーの条件
[1] 顧客視点の獲得：「誰に・何を・どのように」
[2] 共存共栄：実践計画のコントロール
[3] 専門領域の形成：自分の強みを活かす

２ システム構築と要件定義
[1] 要件定義：顧客のニーズ・要望を仮説
[2] プロトタイプ：システムのイメージを提示
[3] 当該業務についての専門知識

３ リーダーの習慣
[1] 日々の業務記録：ポイントを抽出
[2] 自社と競合他社の比較：顧客ニーズを探る
[3] 成功・失敗の要因を分析：基準は顧客満足度
[4] 仕組み作りとプログラム作り

４ 仮説構築・検証の方法
[1] ＰＯＳシステムの事例
[2] 仮説構築の前提：マネジメントとマーケティング
[3] 日々の記録から仮説を構想
[4] 仮説の確立：「仮説→実行→検証」

５ ノウハウの共有化
[1] 学習プログラム化＝ＯＪＴマニュアル化
[2] 一番効果的なリーダー養成法：自己養成
[3] ＯＪＴマニュアルの特徴と成功事例
[4] ＯＪＴマニュアルのつくり方

６ リーダーの仕事
[1] 計画におけるグレシャムの法則：ルーティン優先のリスク
[2] 改善と改革：ルーティンの改善と新しい仕組みの構築
[3] 改善のためのＯＪＴマニュアル
[4] 新しい仕組みのためのＯＪＴマニュアル